

学年	高校3年	教科	地理歴史	科目	日本史探究		単位数	3
教科書名		詳説 日本史（山川出版社）			副教材名	新詳日本史（浜島書店） 詳説日本史スタンダードテスト（山川出版社） 日本史用語集 改訂版（山川出版社）		
コース・クラス		中高一貫理系						

I. 目標

1. 歴史はそれぞれの国や地域との交流の中で相互に影響を受けつつ展開してきたことから、列島の人々の歩みを学ぶだけでなく、我が国と諸外国や諸地域との関係を基本的な枠組みの中で理解することを目標とする。歴史転換の鍵となる事象を題材に歴史的思考力を培い、日本国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 基礎知識の定着とそれらを活用し多角的な視点で物事を考えられる力を養う。
3. 提示された情報から考えらえることを考察し、事象のつながりや意味に対する仮説を立てる力を養う。

II. 授業のねらい

1. 基本的な知識を活用して時代背景や関連する事象への影響について考察し、資料を比較できる力を養う。
2. 様々な出来事の複合性や関連性を理解させ、過去の事象の因果関係を整理する中で、「歴史（過去）に学び、現在を見つめ、未来を切り開く力を養う」ために、生徒各自が意義や教訓を考える。
3. 講義型の授業に加え、アクティブラーニング型授業等を適宜取り入れながら、各種資料（史料）を読み取るための思考力・判断力・表現力を養う。

III. 授業の進め方

1. 近現代（明治維新前後～）の政治経済史を講義の主テーマとする。
2. 複雑な国際社会における日本の立ち位置を確認し、その理由と目的、意義・結果などについて講義と演習を適宜実施しつつ理解を深め、上記ねらいの達成を図る。
3. 歴史上の出来事や人物などの相互関係性を見極める総合的な考察力・思考力を高めるため、それらを的確に表現する力を養うために、論述指導も適宜行う。また、「読み取る力」「考察する力」を養うため、ICT教材を活用した演習を取り入れていく。

IV. 学習上の留意点

1. 歴史的な事象において、時間軸を使う「歴史的な見方・考え方」と空間軸を使う「地理的な見方・考え方」を相互補完的に応用することで、多面的な視点で歴史的な事象を考えること。
2. 用語の暗記に偏ることなく、「なぜそうなったのだろうか」という問題意識を常に持ちながら、因果関係を比較・整理し、各種資料（史料）を読み取る力を養うための主体性を持つこと。
3. 3単位と限られた時間内での講義となるため、各自の予習を前提とする。

V. 定期試験

- 1 学期中間試験 : 開国と幕末の動乱 ～ 立憲国家の成立
- 1 学期期末試験 : 日清・日露戦争と国際関係 ～ ワシントン体制
- 2 学期期末試験 : 近代産業の発展 ～ 冷戦の開始と講和

VI. 評価の方法

各学期の定期試験、小テスト、提出物、課題などの総合評価。

VII. 授業計画

学期	月	単元	試験等	学習目標
一学期	4	第11章 近世から近代へ 開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足	小テスト	・新政府による近代化の各種政策について考察し、その必要性を国際情勢とともに理解する。条約改正交渉を概観し日本の国際的地位の変化の改定とその意義を考察する。 ・日清戦争、日露戦争に至る原因と結果を理解し、日本の国際的地位の変化および植民地支配の推進を考察する。立憲政体樹立の過程を理解し、桂園時代にいたる国内の政治、経済、社会などの分野の動向を考察する。また、我が国の産業革命について考察し、その特徴的な施策を理解する。 ・第一次世界大戦に至る国際関係、大戦の過程とその結果について考察する。民主主義的風潮による社会運動の背景と展開を考察すると共に、政党内閣制成立の過程とその意義を理解する。
	5	第12章 近代国家の成立 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立	中間試験	
	6	第13章 近代国家の展開 日清・日露戦争と国際関係	小テスト	
	7	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制	小テスト 期末試験	
二学期	9	第14章 近代産業と生活 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化	基礎学力到達度テスト	・日清日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について理解する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内外の経済状況と対策に着目して理解する。日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。日中戦争から太平洋戦争へ至る過程を概観し、同時に全体主義的な国家体制が進展した要因とその結果を考察する。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれにとまう諸改革について、その経過と内容を理解する。冷戦の開始をふまえ、占領の終結と日本の主権回復の過程及び、今日まで続く日米安保条約の締結とその意義を考察する。
	10	第15章 恐慌と第二世界大戦 恐慌の時代 軍部の台頭	小テスト	
	11	第二次世界大戦	小テスト	
	12	第16章 占領下の日本 占領と改革 冷戦の開始と講和	小テスト 期末試験	
		*以降の単元については、進捗状況に依る 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本		

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更することがある。